



細胞情報伝達

阻害物質 リン酸化

99% を超える高純度！

Protein Kinase C 関連化合物

製品ページ番号：5297

純度 99% 以上で安価な Protein Kinase C (PKC) 関連化合物です。純度 99% 以上に精製するには、長年の経験や高度な知識が必要となります。

PKC 活性化物質

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Ingenol			
LCL	I-8560		1 mg / 9,000
LCL	I-8560		5 mg / 36,000
弱い PKC 活性化物質 (Ki=30 μM)。[30220-46-3], 純度：>99.0%			
Phorbol-12-Myristate-13-Acetate (PMA) (TPA) (Cocarcinogen A1)			
LCL	P-1680		1 mg / 3,000
LCL	P-1680		5 mg / 14,000
PKC 活性化物質として広く使用されている。マウスの皮膚の強力な発癌プロモーター。[16561-29-8], 純度：>99.5%			
Resiniferonol-9, 13, 14-Orthophenylacetate (ROPA)			
LCL	R-8765		1 mg / 8,000
LCL	R-8765		5 mg / 26,000
強力な PKC の活性化物質。Resiniferatoxin や Tinyatoxin の 20-脱アセチル体に相当するが、カプサイシン類似体としての活性はない。[57852-42-3], 純度：>99.0%			

PKC 活性化物質用ネガティブコントロール

4α-Phorbol-12, 13-Didecanoate (4α-PDD)			
LCL	P-2170		1 mg / 14,000
LCL	P-2170		5 mg / 39,000
Phorbol-12, 13-Didecanoate のネガティブコントロール。ヒト VRL-2 およびマウス TRP12 チャネルを強く活性化する。[27536-56-7], 純度：>99.0%			
4α-Phorbol-12-Myristate-13-Acetate (4α-PMA) (4α-TPA)			
LCL	P-8880		1 mg / 12,000
LCL	P-8880		5 mg / 48,000
Phorbol-12-Myristate-13-Acetate のネガティブコントロール。ヒト VRL-2 およびマウス TRP12 チャネルを活性化する可能性がある。[63597-44-4], 純度：>99.0%			

PKC 阻害物質

Enzastaurin			
LCL	E-4506		10 mg / 13,000
LCL	E-4506		50 mg / 43,000
PKCα, PKCβ, PKCγ および PKCε を阻害する。腫瘍の成長を複数のメカニズムで阻害する。Caspase に依存しない AKT 経路の情報伝達を阻害することで多発性骨髄腫におけるアポトーシスを誘導する。[170364-57-5], 純度：>99.0%			
H-89, Dihydrochloride			
LCL	H-5239		10 mg / 12,000
LCL	H-5239		25 mg / 24,000
強力な PKA 阻害物質 (IC ₅₀ =50 nM)。PKG や PKCγ も阻害するが、他の PKC アイソタイプに対する活性は低い。[130964-39-5], 純度：>99.0%			
K-252a			
LCL	K-2151		5 mg / 39,000
LCL	K-2151		25 mg / 156,000
PKA, PKC, PKG, CaMK および pp42/44 MAPK を阻害する。[99533-80-9], 純度：>99.0%			
Staurosporine (Antibiotic AM-2282)			
LCL	S-9300		1 mg / 10,000
LCL	S-9300		5 mg / 24,000
PKC, PKA, PKG など様々なキナーゼを阻害する。ヒト神経芽細胞およびニワトリ胚神経細胞において、アポトーシスを誘導する。[62996-74-1], 純度：>99.0%			

iduron

細胞接着 / 細胞骨格

細胞外マトリックス 酵素

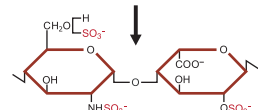
高品質のグリコサミノグリカン切断酵素
ヘパリナーゼ / コンドロイチナーゼ B

製品ページ番号：3855

バクテリア (*Flavobacterium heparinum*) 由来のグリコサミノグリカン切断酵素です。いずれの酵素も活性を確認しており、0.22 μm フィルターでろ過滅菌済みです。

■Heparinase I

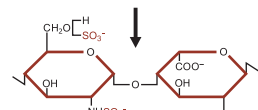
I 型ヘパリナーゼによる切断部位

GlcNSO₃ (+/- 6-OSO₃) 1 - 4 4 IdoA (+/- 2-OSO₃)

ヘパリンとヘパラン硫酸 S-ドメインを切断する酵素です。ヘパラン硫酸中の S-ドメインの分布やヘパラン硫酸の機能における S-ドメインの役割の解析等に有用です。

■Heparinase II

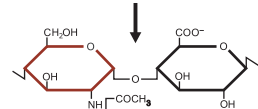
II 型ヘパリナーゼによる切断部位

GlcNSO₃ (+/- 6-OSO₃) 1 - 4 IdoA (+/- 2-OSO₃)

ヘパリンとヘパラン硫酸を切断する酵素です。II 型ヘパリナーゼはウロン酸 / グルコサミン分子が O-硫酸化していても糖鎖切断が可能な、広い活性を有します。

■Heparinase III

III 型ヘパリナーゼによる切断部位



GlcN [Ac 1 - 4 GlcA

ヘパラン硫酸の硫酸化の低い部位 (NAC ドメイン) に働く酵素で、硫酸化度の高い S-ドメインやヘパリンはほとんど切断しません。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
Heparinase I			
IDU	HEP-ENZ_I	-80℃	2 I.U. / 270,000
Heparinase II			
IDU	HEP-ENZ_II	-80℃	0.25 I.U. / 390,000
Heparinase III			
IDU	HEP-ENZ_III	-80℃	0.5 I.U. / 250,000

※活性単位 (IU)：25℃ でそれぞれの基質 (ヘパリンまたはヘパラン硫酸) を毎分 1 μmol 切断する酵素活性。

■Chondroitinase B

デルマトラン硫酸を切断する酵素です。

Chondroitinase B			
IDU	CDB-ENZ		1 I.U. / 140,000

※活性単位 (IU)：37℃ でデルマトラン硫酸を切断し、毎分 1 μmol の Δ(4, 5) hexuronate を放出する酵素活性。